

平成 26 年度第2回水戸市立博物館協議会

日時 平成 26 年 10 月 16 日 (木)
午前 10 時から
場所 水戸市立博物館
3 階視聴覚室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 議 題

(1) 協議事項

・博物館のあり方検討に伴う要望書の提出について

(2) その他

4 閉 会

水戸市立博物館協議会委員名簿

(任期 平成 26 年 7 月 15 日～平成 28 年 7 月 14 日)

氏 名	役 職 等
岡田 貴子	県子ども会育成連合会専門員
小川 知二	学識経験者 元東京学芸大学教授
河原 将子	市文化振興協議会委員
桐原 幸一	茨城生物の会事務局長
小菅 次男	茨城生物の会会長
笹目 礼子	県立歴史館首席研究員
鈴木 暎一	茨城大学名誉教授
大津 亮一	市議会代表
塚原 正彦	常磐大学コミュニティ振興学部教授
小坪 のり子	県弘道館事務所史料研究業務嘱託員
大和田 栄	市学校長会代表 市立梅が丘小学校校長
藤田 雅一	県立佐和高等学校校長
藤本 陽子	学識経験者 元県近代美術館企画課長
吉川 明宏	市立大場小学校校長
和田 祐之介	市商工会議所会頭

(平成 26 年 7 月 15 日現在) (五十音順・敬称略)

今後の水戸市立博物館のあり方に関する要望書

平成26年10月21日

水戸市立博物館協議会

水戸市長 高橋 靖 様

今後の水戸市立博物館のあり方に関する要望書

水戸市立博物館は、水戸の自然や歴史・文化を後世に伝えるため、開館から 34 年間にわたり、水戸に関する資料を収集・保管し、研究につとめて参りました。常設展では収蔵資料を紹介し、特別展その他の行事を通して水戸に関する様々なテーマに取り組んできた実績を持っております。さらに多くの市民や観光客等にむけ、博物館の活動について周知し、集客を図りたいところですが、現状を見るに、職員の努力だけでは解決できない問題が多々あります。それに加え、東日本大震災後の耐震診断によって、耐震補強を行わなくてはならない状況であることが分かりました。

市政の柱として「歴史と文化」を標榜する水戸市にとって、博物館はその中核となるべき施設です。現在、博物館は県内唯一の総合博物館です。その特徴をより生かせる施設・設備を整え、活動を展開していけば、水戸の魅力を包括的に発信する拠点となるでしょう。

今後、水戸市立博物館が、なお一層市民に親しまれ、水戸の文化を未来へとつなぎ、地域の活性化に貢献する場となるためには、まず博物館として十分な機能をもった施設にすることが必要です

本協議会といたしましては、今回の検討を、博物館が現在抱えている課題の抜本的解決を図るまたとない機会と捉え、水戸市の博物館として、本来の使命を果たし得る新たな独立館の整備を強く要望いたします。

平成 26 年 10 月 21 日

水戸市立博物館協議会委員長 鈴木 暎 一

1 博物館の現状と課題

	現状	課題
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・入口がわかりにくい。 ・狭い（乗用車25台）。 ・資料搬入口と利用者駐車スペースが分離されていない。 ・2トトラックまでしか搬入口に入れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスが駐車できず、団体利用の対応が難しい。 ・安全な資料搬入が難しい。
収蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> ・狭隘。 ・空調の不備。 ・バックヤードがなく、一般来館者に見える所にある。 ・作品チェックや梱包のための前室がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵資料、借用資料の適正な保管ができない。
展示室	<ul style="list-style-type: none"> ・狭隘。 ・空調の不備 ・直射日光が入る。 ・ケース全体が不備。 ・雨の吹き込みがある。 ・鍵なしで外に出られる非常口が展示室内にある。 ・展示台や展示ケース等の倉庫なし。 ・併設施設のため入口等がわかりにくい。 ・階層に分かれている。 ・利用者用のエレベーターがない。 ・休憩スペースがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示における資料の安全性が確保できない。 ・利用者の利便性がはかれない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者用エレベーターがない。 ・荷物用エレベーター等バックヤードにあたる場所が独立していない。 ・博物館にトイレがない。 ・講座や体験、ボランティア活動などのための部屋がない。 ・事務室の環境が悪い（狭く、極寒）。 ・施設周辺環境のアメニティが考えられていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員にも利用者にも不便があり、博物館として機能させることに無理があって、双方にストレスが大きい。 ・快適な空間と感じられない。
老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ・各設備の老朽化（空調・配管・エレベーターシャッター・衛生設備等）。 ・展示ケース、照明設備の老朽化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料、利用者、職員への危険度が高い。 ・展示資料に影響がある。
※危険箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・建物に付随するガラスや展示ケースに使用されているガラスのほとんどが生ガラスで、飛散防止のための処置がされていない。 ・壁付展示ケースゆがみや・床面の傾きがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や展示資料への危険が大きい。 ・ケースの設置に影響が大きい。

2 水戸市立博物館の必要性

(1) 水戸の自然、歴史、文化を総合的に伝え育む

- ・水戸市立博物館は、県内で唯一の総合博物館であり、水戸の自然、歴史、文化を後世に伝え、包括的に発信する場として必要である。
- ・34年間蓄積した水戸に関する資料(コレクション)を活かす場所として必要である。

<博物館の役割>

- ①郷土の財産を収集・保存し、次の世代へ継承する
 - 一貫した資料収集方針に基づく継続性のあるコレクションの維持
 - 郷土の財産を次世代に継承するための、総合的な資料収集
 - 市民からの寄贈寄託を受入れ、市民共有の財産として、未来の市民へ安全かつ確実に継承
- ②水戸の姿を多角的な視点から明らかにする
 - 歴史文化・自然の各分野から行う水戸に関する調査研究
 - 総合博物館ならではの横断的研究で新しい水戸の魅力を創出

(2) 市域内外の人々の学習・交流の場

- ・水戸の「歴史と文化」の土台を支える場所として必要である。
- ・知的好奇心と心の充足を満たす場として必要である。

<博物館の役割>

- ③わかりやすく、より満足度の高い展示内容を提供する
 - 見て、触れて、誰もが利用しやすいユニバーサルな展示空間
 - 収集資料の公開・活用、地域文化の発信
 - 各分野の常設展、特別展、企画展の開催
- ④幅広い世代の人々に発見や驚き、そして憩いの時を提供する
 - 幅広い世代に向けた知的探究心の触発と充足のための教育普及プログラムの展開
- ⑤地域内外の人々とともに学び、育む機会を提供する
 - 学校との連携、地域との連携、福祉との連携等、柔軟な相互協力の体制を強化
- ⑥満足度の高い時間と空間を提供する
 - 施設設備と周辺環境のアメニティの充実
 - 博物館職員の行動倫理の向上
- ⑦確かで丁寧な情報サービスを提供する
 - 地域の歴史文化、自然情報の蓄積と地域への還元
 - 子どもから研究者、マスコミなどからのレファレンスへの的確な対応
 - 情報公開ツールの充実

(3) 市域の施設との連携を含め観光交流の中核となる

- ・学校等と連携し、実物資料を通して教育活動を支援する場所として必要である。
- ・地域との連携し、市街地の活性化や観光交流を創出する場所として必要である。

<博物館の役割>

⑧地域文化を継承し発展・創造に資する

博物館自体が地域文化の継承者となり、その発展創造への足がかりを提供

⑨中心市街地を元気にする

博物館の資源を活かして、中心市街地の商店街等と協働し、街の賑わいを創出

⑩観光地としての魅力を発信する

市域の他施設やボランティア等の人的資源と協働して、水戸の歴史文化、自然を多方面に発信
文化的観光ステーションの役割を果たす（街巡りの起終点となる）

3 水戸市にはこんな博物館が望ましい

- 「歴史と文化」の街にふさわしい博物館（雰囲気も内容も）。
- ユニバーサルデザインが行き届き、体験型をふくめ、現代の市民の要望にマッチした博物館。
- 子どもから高齢者まで、市民から観光客までが楽しめる博物館。
- 高齢者が経験を活かし、ボランティアとして能動的に活動できる博物館。

水戸市立博物館の置かれている現状をふまえ、課題を解決すべく、水戸市にとっての「博物館のあり方」を検討されることを望みます。

まずは施設の安全性であり、人にとっても、資料にとっても安全であることが基本です。次に、利用者の利便性として、たとえば駐車場やエレベーター、施設の快適さ、わかりやすさなど、幅広い年齢層の多様なニーズに応えられる施設であってほしいと願います。そして、博物館の財産である収蔵資料や学芸員の有効な活用、ボランティアの育成等を通して、地域のつながりの核となるような博物館の整備を望みます。